



FURUSATO ! 12月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

3年ぶりに開催！ ～第28回 四国のつどい～

3年ぶり、懐かしい顔の仲間たちが笑顔で迎えてくれました。「ほんまに、久しぶりだね、元気やったの！」と、久しぶりの再会のあいさつが飛びまわる会場。これが「四国のつどい」。かつては、400～500人が集い、研修生の成長や交流を楽しみ、支援の方法や今後のビジョンなどを語り合う貴重な場面であったに間違いのないと思った。時間が経っても支援するココロは変わらない！

私は初の参加で、いや初めての企画をして、三日三晩事務所での作業に勤しんだ。”何をどうすれば皆さんが喜んでくれるか？”を一生懸命に考えた。もちろん最初から上手くいくはずがない、頭を下げる覚悟は出来ている。コロナ禍で参加者数が読めない中でも参加して良かったと思える時間にしたいという気持ちが強くあった。

前半の式典では、予想を上回り、準備していた130脚の椅子が足りなくなり、約160名の参加者に出席していただいた。素直に嬉しかった。中野理事長の「オイスカ60年をふりかえり、これから10年」の講話では、60年前からオイスカの活動は困っている国へ行き、米を植え、種を蒔き、森を蘇らせて、人材を育成して参りました。これらひとつひとつが今でいうSDGsの実践でありました。これからは地球環境や世界平和は今まで通りのオイスカ活動を継続していくことを再確認しました。

オイスカ四国研修センターでは、9名の研修生が自分のFURUSATOのリーダーになるべく日々研修に励んでいます。この日は自国の踊りや歌を披露し、会員の皆様と一緒に踊り盛り上がりました。笑顔と笑い声が絶えない会場となりました！

会場を後にする皆様に挨拶をする際には、何となく満足そうな様子に少し安心をしました。多くの皆様のお陰で無事やり遂げました。ありがとうございました。（支部 チェ）



研修生による個人畑での収穫が始まりました！

8/28から、個人畑が始まりました。自分が育てたい作物を決めて、畝幅や高さ、株間、条間の計算から、畑のロータリーなどを行います。私は、水菜、葉ネギ、コマツナを育てています。研修時間が終わった後の自由時間を利用して、畑の管理を行っています。そして、収穫して販売用のパッキングまでの作業を自分たちで行います。先生たちのサポートを受けながら、元気に育っている野菜を見るのは嬉しい気持ちになります。管理したことをレポートにして先生達に発表もしています。研修生のみんな、これからも畑を頑張りましょう！（サンダ）



センターの新米はいかがですか？

コシヒカリ (¥〇〇円/kg)

※センターにはお米の乾燥機や粃摺り機もあります。1袋〇〇円～、もみ殻の乾燥から粃摺りを行い、玄米にすることもできますので、ご自分の田んぼで収穫されたお米を持参いただくことも可能です。是非、ご検討ください。

オイスカ四国研修センター（安部） ☎ 087-876-3333

12月の予定

日	イベント名	主催・協力	場所
2日	(株)クロダ 委託研修生2名入所（ミャンマー）	オイスカ四国研修センター	オイスカ四国研修センター
8日	高松推協幹事会・支部幹事会	高松推協・四国支部	
10日	愛媛推進協議会 忽那山下草刈り	愛媛推進協議会	忽那山



「FURUSATO！」12月号 発行
公益財団法人 オイスカ四国研修センター
〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL 087-876-3333 FAX 087-876-3334
E-mail: oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト



香川県立高松北中学校 2 年団と交流しました！

11 月 4 日・7 日・11 日の 3 日間に渡って、香川県立高松北中学校 2 年団の皆様と交流会を実施しました。午前の部は、研修生の国の紹介や国の言葉の紹介を行いました。午後は、一緒に農作業で汗を流しました。サツマイモの収穫や落花生の収穫を行い、研修生との仲も一段と深まったように思います。

10 月、11 月と立て続けに中学生との交流会が実施されており、研修生達も若いパワーをもらいとても楽しそうな雰囲気でした。また、来年もよろしく願いいたします！（山崎）



OSATO の活動報告！

初めまして！研修生のベッツィ（マレーシア）です。オイスカ四国研修センターでは、研修生の組織があります。OSATO（OISCA SHIKOKU ALL TRAINEE ORGANIZATION）と言います。

11 月 6 日に OSATO の活動で、徳島県の剣山に登頂しました。1955m の山頂は、気温-1℃。とても寒くて、温かい服を何枚も重ねて着ました。登山中は、体は疲れましたが、心は「山頂まで登頂してやるぞ！」という気持ちで頑張りました。仲間の研修生や先生たちと一緒に山頂まで行くことが出来たので、ほんとに良かったです。OSATO で、たくさんの経験をしています。自分の FURUSATO に帰った時には、この経験を伝えたいです！FURUSATO のリーダーになるために、これからも毎日の研修を頑張ります！（ベッツィ）



綾川推進協議会主催 「センター収穫感謝祭」

11 月 12 日、17 時より綾川推進協議会は四国研修センターにおいて 3 年ぶりに『センター収穫感謝祭』を開催。当日は会員の皆様 30 名余とセンター研修生との久しぶりの対面による国際交流となりました。懇親会では、研修生紹介に始まりメキシコの紹介やモンゴルのダンス、インドネシアのダンス、皿回しの演芸、ピアノと太鼓のコラボ演奏などの催し物が披露されまして、今日までのコロナ禍を一掃するような楽しいひと時となりました。これを機会に国際協力の輪が更に広がり、会員の皆様と四国研修センターとの絆がより密接に繋がっていくことを願っています。（石見）



地域の方々との “どじょう汁交流会”

10 月 29 日に、地域の方々との “どじょう汁交流会” をおこないました。地域の人々が約 20 名余と綾川推進協議会の大方会長を始めとした綾川推協の会員様も数名余り参加されました。研修センターからは、研修生 9 名に加え、スタッフ一同も参加しました。

去年は、コロナ禍により研修生がいなかったですが、今年は研修生も参加でき、賑やか交流会となりました。研修生のザヤさん（モンゴル）とペテロさん（フィジー）、私の 3 人でうどんの下準備を行いました。18 時から交流会が始まり、どじょう汁を食べながら、研修生の自己紹介やダンス、カラオケが行われ、楽しいひと時となりました。また来年も、“どじょう汁交流会” を実施できたらいいなと思います！（ファビアン）

